

## 創立 70 周年記念事業 燕市へ電気自動車 2 台贈呈！！

令和 5 年 5 月 29 日（月）に燕市へ電気自動車 2 台を贈呈致しました。電気自動車は三菱自動車の「ミニキャブミーブ」で 1 回の充電では 130 km 走行が可能です。贈呈した電気自動車は、教育委員会学校教育課で学校運営の指導・児童クラブの運営や子ども政策部で本庁舎と保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・児童クラブ等の現場を行き来する車として活躍します。また、電気自動車の後部ドア下には「贈 協栄信用組合」と名入れがしてあり、これからもずっと「協栄信用組合と燕市」がタッグを組んで子育て支援にチカラを入れていきます。

目録贈呈 池内理事長から鈴木市長へ



電気自動車 ミニキャブミーブ



名入れ「贈 協栄信用組合」



### 【池内理事長コメント】

創立 70 周年の寄付金事業の総仕上げとして、燕市への電気自動車 2 台を贈呈しました。鈴木市長の強力なリーダーシップの下、今年度より「子ども政策部」を立上げて「子育て支援」を前面に打ち出した取り組みをしています。この電気自動車 2 台が子ども政策部で活用していただけることがとてもうれしい、また、燕市はカーボンニュートラルにも積極的に取り組んでおり、この電気自動車 2 台が活躍し、燕市の未来を切り拓く子どもたちの成長に役立つことを期待しています。

### 【鈴木市長コメント】

心のこもった電気自動車の贈呈ありがとうございました。そして日ごろより地域の経済を支えていただき感謝します。今年から「子育てするなら燕市へ」を全面的に打ち出して地方創生に取り組みを始めています。その良いスタートを切るため協栄信用組合のサポートを心強く思っています。また、電気自動車は地球にやさしい車であり、燕市のカーボンニュートラル都市宣言にもとてもふさわしい車種、燕市としては 2 重に嬉しい想いです。この電気自動車を有効に使わせていただき、必ずや成果がでるようにがんばっていきたい。

